

3学期の漢字

たしかめ  
33

165	164	163	162	161
久	永	居	綿	飼
久しぶりに体育で持久走をした。	永く永遠に平和が続きますように。	居心地のいい都会に転居する若者。	綿から作った綿織物。	飼育小屋を作つて豚を飼う。

たしかめ  
34

170	169	168	167	166
師	講	犯	営	毒
漁師が漁船に乗つて漁に出る。	交通安全の講習を受ける。	罪を犯した犯罪者は刑務所で服役。	町工場を経営しながら生活を営む。	食中毒が発生した。

たしかめ  
35

175	174	173	172	171
災	益	囲	慣	精
防災訓練を行う。	技術を改善して利益を上げる。	学校の周囲をフェンスで囲む。	早起きを続けて慣れて今では習慣。	健全な精神は健全な肉体に宿る。

たしかめ  
36

180	179	178	177	176
衛	制	税	費	枝
救助活動をする自衛隊員。	学校の制服を着て登校する。	国民の税金で政治が行われる。	七年を費やし多額の費用をかけた黒部ダム。	木の枝や葉を枝葉ともいう。

たしかめ

33

165	164	163	162	161
ひさしぶりにたいいくでじきゆうそうをした。	ながくえいえんにへいわがつづきますように。	いごこのいいとかいにてんきよする若 <sup>わか</sup> もの。	わたからつくっためんおりもの。	しいくごやをつくって豚 <sup>ぶた</sup> をかう。

たしかめ

34

170	169	168	167	166
りようしがぎよせんにつてりようにでる。	こうつうあんぜんのこうしゆうをうける。	つみをおかしたはんざいしやは刑務 <sup>けいむ</sup> しよでふくえき。	まちこうばをけいえいしながらせいかつをいとなむ。	しよくちゆうどくがはっせいした。

たしかめ

35

175	174	173	172	171
ぼうさいくんれんをおこなう。	ぎじゆつをか <sup>ぜん</sup> い善してりえきをあげる。	がつこうのしゆういをフェンスでかこむ。	はやおきをつづけてなれていまではしゆうかん。	けんぜんなせいしんはけんぜんなにくたいにやどる。

たしかめ

36

180	179	178	177	176
きゆうじよかつどうをするじえいたいいん。	がつこうのせいふくをきてとうこうする。	こくみんのぜいきんでせいじがおこなわれる。	しちねんをついやしたかくのひようをかけたくろベダム。	きのえだやはをしようともいう。

181	182	183	184	185
耕	損	粉	均	輸
荒れ地 <sup>あ</sup> を耕し耕地に変えた先祖の努力。	葉書を書き損ない、損をした。	小麦粉の粉末練ってパン作り。	百円均一、略して百均。	輸出・輸入、輸は「運ぶ」という意味。

186	187	188	189	190
団	務	快	燃	率
集団登校で学校に行く。	義務教育を受けさせるのは親の務めだ。	天気は快晴、風も爽やか <sup>さわ</sup> で快い。	燃料のまきを燃やして湯を沸 <sup>わ</sup> かす。	引率の先生に率いられて遠足。

191	192	193
領	導	堂
北方領土問題は未解決だ。	人々を誘導 <sup>ゆう</sup> して安全な場所に導く。	頭領らしい堂々たる態度。

## たしかめ

37

185	184	183	182	181
ゆしゆつ・ゆにゆう、ゆは「はこぶ」といういみ。	ひやくえんきんいつ、りやくしてひやつきん。	こむぎこのふんまつねってパンづくり。	はがきをかきそこない、そんをした。	<sup>あ</sup> 荒れちをたがやしこうちにかえたせんぞのどりよく。

## たしかめ

38

190	189	188	187	186
いんそつのせんせいにひきいられてえんそく。	ねんりょうのまきをもやしてゆを沸 <sup>わ</sup> かす。	てんきはかいせい、かぜも爽 <sup>さわ</sup> やかでこころよい。	ぎむきよういくをうけさせるのはおやのつとめだ。	しゅうだんとうこうでがつこうにいく。

## たしかめ

39

193	192	191
とうりようらしいとうとうたるたいど。	みちびく。 ひとびとを誘 <sup>ゆう</sup> どうしてあんぜんなばしよに	ほっぼうりようどもんだいはみかいけつだ。